

「金沢市役所ゼロカーボン推進計画2021(改訂版)」の進捗状況 (2024年度実績)

1 数値目標の進捗状況

(1) 温室効果ガス総排出量

数値目標：2030年度に2013年度比で60%削減すること。

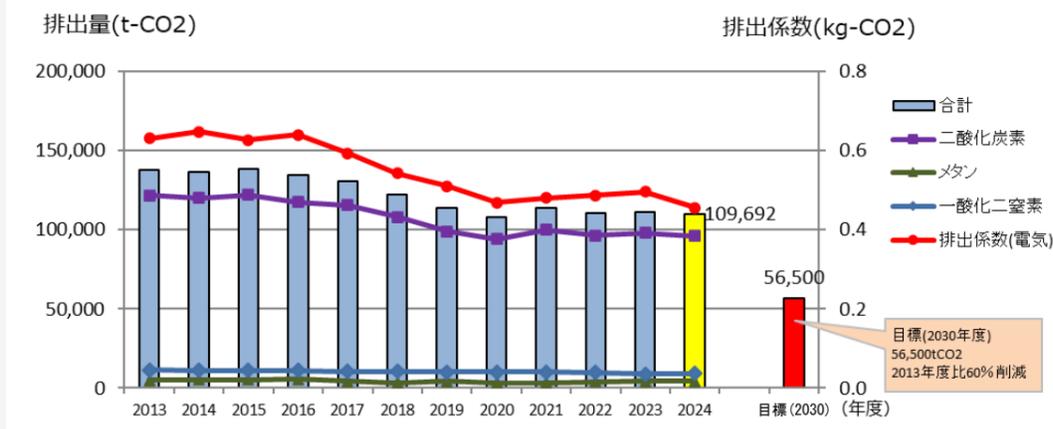
2024年度の温室効果ガス総排出量は 109,692t-CO2 で、**2013年度比で20.5%減少し、2023年度比では1.4%減少**しました。

(単位：t-CO2)

項目/年度	2013	2019	2020	2021	2022	2023	2024
二酸化炭素	エネルギー起源	78,463	57,702	54,591	60,379	58,227	56,160
	非エネルギー起源	43,101	41,423	39,564	39,697	38,155	41,916
	計	121,563	99,124	94,154	100,077	96,383	98,076
メタン	4,998	4,311	3,502	3,417	4,047	4,304	4,364
一酸化二窒素	11,347	10,349	10,062	10,076	10,026	8,881	9,294
ハイドロフルオロカーボン	8.6	9.0	8.9	8.6	8.6	7.9	7.3
合計	137,917	113,794	107,727	113,578	110,464	111,269	109,692
前年度比	-	-	▲ 5.3 %	5.4 %	▲ 2.7 %	0.7 %	▲ 1.4 %
基準年度(2013)比	-	-	▲ 21.9 %	▲ 17.6 %	▲ 19.9 %	▲ 19.3 %	▲ 20.5 %

※少数点以下の数字を四捨五入して整数表示しているため、合計値が合わない場合があります (以下同じ)。

※SHK制度に基づく基礎排出係数を使用した暫定値であり、今後排出係数が告示された際、確報値に修正する予定です。



「増減の主な要因」

温室効果ガス総排出量：電気の排出係数が低減したほか、ごみの燃焼におけるプラスチックの燃焼量が減少したこと等により、相対的に温室効果ガス総排出量は減少。

エネルギー消費量：新規施設の通年利用による増加や夏季の酷暑・冬季の大雪や気温低下による冷暖房設備等の使用増加のほか、西部環境エネルギーセンターの発電機故障に伴う自家発電電力の大幅な減少により買電量が増加したため、一時的にエネルギー消費量が増加。

(2) エネルギー消費量

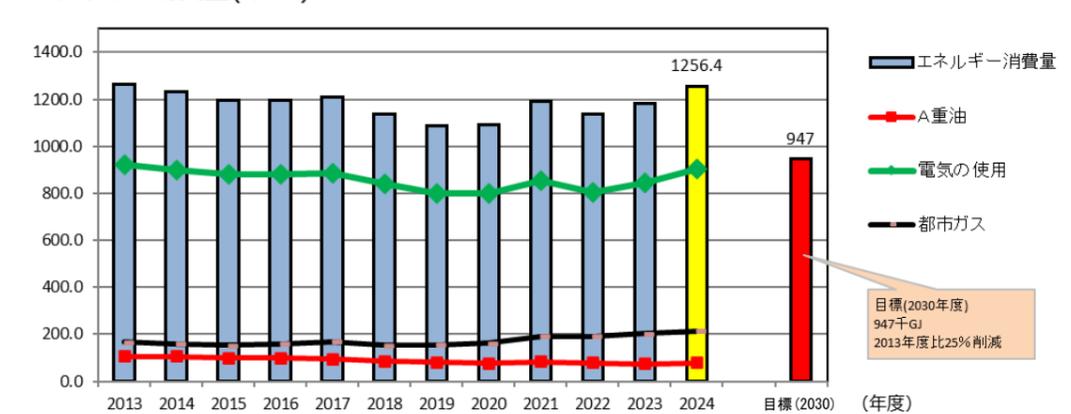
数値目標：2030年度に2013年度比で25%削減すること。

2024年度のエネルギー消費量は、1,256.4千GJ で、**2013年度比で0.5%減少し、2023年度比では、6.3%増加**しました。

(単位：千GJ)

項目/年度	単位熱量	2013	2019	2020	2021	2022	2023	2024
燃料の使用	ガソリン	34.6 MJ/L	11.8	9.8	9.5	9.4	9.2	9.3
	灯油	36.7 MJ/L	22.5	15.8	17.6	17.1	16.5	17.4
	軽油	37.7 MJ/L	20.3	14.8	14.5	14.3	15.5	13.7
	A重油	39.1 MJ/L	106.7	80.1	76.4	84.0	79.3	74.8
	液化石油ガス(LPG)	50.8 MJ/kg	14.6	13.5	13.7	17.2	18.1	18.7
	都市ガス	44.4 MJ/m3	166.0	155.8	162.5	191.9	191.5	202.0
電気の使用	9.97 MJ/kWh	921.4	798.5	798.6	856.2	805.2	846.1	905.4
合計		1,263.4	1,088.3	1,092.8	1,190.0	1,135.2	1,182.0	1,256.4
前年度比		-	-	0.4 %	8.9 %	▲ 4.6 %	4.1 %	6.3 %
基準年度(2013)比		-	-	▲ 13.5 %	▲ 5.8 %	▲ 10.1 %	▲ 6.4 %	▲ 0.5 %

エネルギー消費量(千GJ)



2 施策の効果

(1) 環境価値が高い電力等の活用 関連：重点施策②「環境価値の高い電力の市有施設での利用を拡大します。」

本市では、2022年度から東西環境エネルギーセンターで発電した電気(ごみ発電)や市内卒FIT電力(再エネ)など、環境価値の高い電気等の使用を進めています。これらの電気等は、使用に伴いCO2が発生しないため、エネルギー起源CO2の排出量を削減できます。

2024年度は、新たに学校給食共同調理場(東部・西部・北部)にて水力発電による再エネ電力と、カーボン・オフセットガス(都市ガス:東部・西部※)を導入し、**電気では575MWh、都市ガスでは141,016m³を環境価値の高いエネルギーに切替えました**。これにより年間の排出量で、**597t-CO2、エネルギー起源CO2の約1%を削減**しました。

※北部共同調理場ではカーボン・オフセットガス(LPG)を使用しており、J-クレジットにて排出量をキャンセルしています。環境省の事務事業編マニュアルではJ-クレジットによるオフセットを排出量に反映させることはできませんが、北部共同調理場におけるカーボン・オフセットガス(LPG)の使用で29,812.8m³の排出量をキャンセルし、178t-CO2の温室効果ガスを削減しており、これを加味すると、2024年度の温室効果ガス排出量は109,514t-CO2(参考値)となり、**2013年度比で20.6%減少、2023年度比では1.6%減少**となります。

(2) LEDの導入 関連：重点施策③「LED照明器具を未設置の市有施設に90,000台導入します。」

2024年度中に、**合計2,392台のLEDを導入**し、これにより**148t-CO2を毎年削減できる**見込みです。

また、本市初となるPFI方式による金沢市公共施設LED照明導入推進事業の契約を締結しました。これにより**市有施設123施設に約42,600台のLEDを一括導入**することとなり、PFI事業による年間削減効果は**2,649t-CO2**となる見込みです。

(3) その他

- ・18台の公用車を次世代自動車に転換しました。(電気自動車7台、ハイブリッド自動車11台)
- ・森山町小学校及び泉中学校に計2基の太陽光発電設備を設置しました。また、新たに朝霧台小学校に1基の太陽光発電設備の設置に着手しました。(令和7年度完成、供用開始済)